【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成21年6月25日(2009.6.25)

【公開番号】特開2007-79540(P2007-79540A)
【公開日】平成19年3月29日(2007.3.29)
【年通号数】公開・登録公報2007-012
【出願番号】特願2006-139200(P2006-139200)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｆ　7/30　(2006.01)
Ｇ０３Ｆ　7/00　(2006.01)
Ｇ０３Ｆ　7/32　(2006.01)
Ｇ０３Ｆ　7/004　(2006.01)
Ｇ０３Ｆ　7/38　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｆ　7/30　５０１
Ｇ０３Ｆ　7/00　５０３
Ｇ０３Ｆ　7/32
Ｇ０３Ｆ　7/004　５１４
Ｇ０３Ｆ　7/38　５１１

【手続補正書】
【提出日】平成21年5月12日(2009.5.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２６７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２６７】
表２は、液たまりを設けた本発明の実施例１に係る浸漬型現像方式において、水溶液浸漬からブラシ擦りまでの時間、およびブラシ擦り位置と平版印刷原版の現像処理性についての実験結果を示している。
実施例２は平版印刷原版が水溶液の中に浸漬してからブラシ擦りが行われるまでの時間を５ｓｅｃとした場合、実施例３は同じくブラシ擦りが行われるまでの時間を２ｓｅｃとした場合、実施例４は実施例３と同じであるが、浸漬前にスプレ１で水溶液を平版印刷原版に接触させた場合、比較例２はブラシ擦りが行われるまでの時間を１ｓｅｃと短縮した場合である。上記の場合、ブラシはいずれも１本だけを用い、その設置位置を液たまりの底部中央としている。また、実施例５はブラシ擦りが行われるまでの時間を３．５ｓｅｃとし、ブラシの設置位置を底部中央から平版印刷原版の搬送方向後半に設置した場合、比較例２はブラシ擦りが行われるまでの時間を１ｓｅｃとし、ブラシの設置位置を底部中央から平版印刷原版の搬送方向前半に設置した場合である。
実施例６はブラシを２本とし、１本目はブラシの設置位置を底部中央から平版印刷原版の搬送方向前半に設置し、したがってブラシ擦りが行われるまでの時間を１ｓｅｃとし、２本目はブラシの設置位置を底部中央から平版印刷原版の搬送方向後半に設置し、したがってブラシ擦りが行われるまでの時間を３ｓｅｃとした場合である。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２７０
【補正方法】変更
【補正の内容】

【０２７０】
表３は、液たまりを設けた本発明の実施例３に係る浸漬型現像方式において、浸漬終了後にスプレ２で液を平版印刷原版に追い掛けした場合のカス付着についての実験結果を示している。すなわち、実施例３は浸漬してからブラシ擦りが行われるまでの時間を２ｓｅｃとした場合であり、実施例７は実施例３と同じであるが、浸漬終了後にスプレ２で更に新液を平版印刷原版に掛けた場合、実施例８はスプレ２で浸漬部と同じ疲労液を掛けた場合を示している。以上の結果は、平版印刷版原版Ｃを用いた場合も同様であった。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２７１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２７１】
【表３】

表3. スプレ2有り／無しによる処理評価（疲労液による処理テスト）

	浸漬後のスプレ	スプレから吐出する液	カス付着
実施例7	あり	新液	◎
実施例8	あり	疲労液（浸漬部と同じ）	○
実施例3	なし	ー	○△：許容